

千葉キヨ子氏 (86歳・西木町門屋)

小学2年から西木町上荒井字古堀田の伊藤一造師匠から民謡や手踊りを習い始める。「だんまり」「秋田音頭」は佐藤貞子氏から指導を受け、42年間にわたり指導している。

西木公民館の「民謡手踊り教室」では、昭和50年代の発足当初から講師として活動し、婦人や小中学生に民謡手踊りを指導している。平成19年には、日本民謡協会少年少女民謡民舞指導員として指導普及に努め、仙北市はもとより他市町村にも指導し、賞に導いている。本人も数々の大会で受賞、角館のお祭り保存会から優秀賞を受けるなど、長きにわたり北浦地方の伝統文化である民族芸能の普及発展に努めている。



個人・郷土芸能

加賀谷浩子氏 (81歳・角館町田上十)

平成4年、華道家元池坊角館会引立教授(取得)。平成10年から平成31年まで角館公民館池坊教室の指導者として後進の指導にあたる。

平成6年と平成24年に仙台花展、平成15年4月に東北大会郡山花展、平成24年11月に七夕会全国花展に出版するなど、東北や全国規模の花展に出版し、活躍の場を広げている。

地域における活動は、華道家元池坊角館会花展に出版することにも、角館榊細工伝承館、角館交流センター、角館郵便局ホール、安藤醸造本店、秋田内陸線「秋の彩」、角館駅前広場などに出版し、多数の門下生を輩出している。



個人・華道

西宮徳子氏 (79歳・角館町歩町)

昭和33年、石田白樹師匠のもと書道始める。雅号雪紅。平成17年頃「雪紅会」を立ち上げ、2年おきに雪紅会書道展を開催。指導した生徒は秋田書道展で数多く受賞している。平成25年から仙北市公民大学書道学科の講師として活動、生徒は各種展示会で輝かしい賞を受賞している。

「スくら種染めサークル」には平成7年の設立当時から参加、平成19年には中心となり同サークル展を「NHK秋田放送局ギャラリーホール」で開催した。

地域活動として、角館盆栽展に生徒とともに作品を発表し、好評を得ている。大曲支援学校せんばく校設立以前から書道スクールから中高等の生徒にボランティアとして指導を続けている。



個人・書道

故高田文雄氏 (72歳・田沢湖小松)

平成2年から日本画を始め、晴陽会に入会。平成20年晴陽会会長に就任するとともに、会員の指導的立場において「秋田県総合美術展(日本画)」で会員を特賞の栄に導いた。

また、自らも秋田県総合美術展で特賞、奨励賞など数多く受賞した。

地域活動においては、平成18年5月の仙北市芸術文化協会設立後、事務局長として会務に尽力。また、仙北市総合美術展初代実行委員長、仙北市芸術文化協会振興大会実行委員長のほか、長期間にわたり角館地区文化祭実行委員長、角館町芸術文化協会副会長、仙北市文化協会理事として活躍した。



個人・地域・日本画



令和元年度仙北市芸術文化章授章式

1月16日、仙北市芸術文化協会(山口心海会長)が主催する「令和元年度仙北市芸術文化章授章式」があきた芸術村で開催され、次の方々に芸術文化章が贈られました。(※年齢は授章決定時を掲載)

こふるさとの未来を考えよう

私たちの力でつくる仙北市



これからの仙北市を考え、様々な提案を行った子どもたち。自分のふるさとを考えるよい機会になったようです。



1月8日、市内小中学校12校の代表25人が議員となり、市が抱える課題などについて様々な提案を行う「私たちの力でつくる仙北市」が市役所田沢湖庁舎の議場で開催されました。各校の児童生徒は、それぞれ考えてきた取り組みを提案。仙北市のPR活動や観光客増加に向けたアイデアのほか、田沢湖の水質改善や中川小学校の利活用など地域に関わるものもあり、それぞれの視点で考えた内容を発表しました。

提案や質問に対する門脇市長や市当局の説明に、子どもたちはまちづくりについて真剣に考えている様子でした。

としょかんコンサート 詩人のうた 聖夜に歌と演奏響く



訪れた観客は、歌と演奏に酔いしれ、クリスマスの夜を堪能しました。

12月25日のクリスマスの夜、田沢湖図書館を会場に「としょかんコンサート 詩人のうた」が開催されました。まど・みちおや北原白秋といった詩人たちの作品が、ピアノとクラリネットの演奏と歌声でしっとりと表現された第1部。出演者の安藤満里さん、倉持千恵子さん、加藤真弓さんとともに、神代小学校2年生の浅利みづぎさんの歌声も会場に響きました。最初は緊張していたという浅利さんも最後は「緊張が吹き飛ばされて、どんどん歌えるようになって楽しかった」とにっこり。

第2部は、宮沢賢治の作品がピアノの伴奏とともに朗読され、図書館という空間に響き渡る音に観客は聞き入っていました。最後は、出演者と観客全員で「聖夜(きよしこのよる)」を合唱し、コンサートが締めくくられました。

観客の1人は「日常とは違う別世界を堪能した。気持ちが清らかになった」と感想を話してくれました。

人権擁護委員の委嘱状と感謝状を伝達

令和2年1月1日付で千葉悟見さん(角館町)、黒澤福子さん(角館町山谷川崎)、田口陽三さん(田沢湖生保内)に人権擁護委員の委嘱が法務大臣より発令され、秋田地方務局大曲支局の西村浩昭支局長から交付されました。また、長年にわたり人権擁護委員として活躍いただいた高橋英幸さん(同日付退任、田沢湖田沢)に同大臣より感謝状が贈られました。



左から千葉悟見さん(再任)、黒澤福子さん(再任)、田口陽三さん(新任)の3人に委嘱状が交付されました。退任される高橋英幸さんには、感謝状が贈られました。

教えて！オタスケマン!

角館キッズ学び教室

12月27日と28日、19年目を迎えた第36回の「角館キッズ学び教室」が角館交流センターで行われ、市内外の小学生91人が参加しました。

この教室は「楽しい学習オタスケマンの会(草薨稔会長)」が子どもたちの自学自習を支援しようと、毎年、夏・冬の長期休みに開催しています。

今回も、現職や退職した先生、市民などの「オタスケマン」と角館高校生2人による「フレッシュオタスケマン」の総勢32人の皆さんが、子どもたちの勉強の手助けをしました。オタスケマンの丁寧な指導に子どもたちも真剣に取り組んでいました。



分かりやすい説明に子どもたちも納得です。

第15回 仙北市新春書初め大会

お正月恒例の「第15回仙北市新春書初め大会」が1月7日、角館交流センターで開催されました。
今年小学生・中学生・高校生あわせて37人が参加、「ともだち」「正しい心」など学年ごとに決められた課題に取り組みました。
参加者は納得のいく1枚が完成



真剣に筆を運ぶ参加者。

するまで、時間いっぱい熱心に筆を走らせていました。

書初めの後には角館高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、音楽に合わせて力強く流れるような筆さばきで作品を作り上げていました。完成した作品を見た観客からは、大きな拍手が送られました。



角館高校書道部による書道パフォーマンス。力強い見事な作品ができて上がりました。

金賞受賞者【敬称略】

小学校2年生の部

伊東万莉（松木内小学校）、堀部瑠花（角館小学校）、八柳和華（同）

小学校3年生の部

荒木田桜心（白岩小学校）、堀井柚香（中川小学校）

小学校4年生の部

金谷ひよの（角館小学校）、山口海嘉（神代小学校）

小学校5年生の部

石川才稀（神代小学校）、小野翔（生保内小学校）、戸澤真優（中川小学校）、堀井小夏（同）、大澤寛介（同）

小学校6年生の部

袖沢心（生保内小学校）

中学校2年生の部

戸澤明寿（角館中学校）

高校生の部

大塚瑠那（天曲支援学校せんぼく校）、高員希美（以下、角館高校、齊藤叶実、加賀谷紗希、鈴木翔子、二浦哉、鈴木胡桃、星宮美咲、久保田ひかる、三浦海七、小林ゆず葉、高橋七星、若竹咲桜、鈴木皇太、辻雛

小学生が楽しく学ぶ

子ども昆虫教室

新潮社記念文学館では、現在開催中の「ファーブル昆虫記を詠じた椎名其二展」特別企画として、冬休み最後の土曜日（1月11日）子ども昆虫教室を開催し、小学生11人とお父さんお母さんが参加しました。

教室では、秋田県立博物館の梅津一史学芸員が、昆虫たちの冬越しの様子から秋田に住む昆虫、その種類や詳しい生態など多くの画像を交えて丁寧に解説しました。子どもたちは真剣にメモしたり、珍しい写真に歓声をあげたりと楽し



最後に、参加した子どもたちで記念写真。



昆虫の標本に興味津々。



解説する梅津学芸員。

しく学びました。最後は同文学館で展示中の昆虫標本を見ながらギャラリートークが行われました。この日、昆虫大好きな子どもたちにはもちろん、お父さんお母さんも大いに盛り上がり教室は終了しました。
めげせ、昆虫博士!!

栄光

～輝くとき

第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会秋田県大会

中仙バレーボールスポーツ少年団が優勝

11月23日・24日、ナイスアリーナ（由利本荘市）で開催された「第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会秋田県大会」で中仙バレーボールスポーツ少年団が見事優勝しました。

同団は、大仙市中仙地域の小学校を中心に、あわせて6校の児童からなるスポーツ少年団で、仙北市からは角館小学校の高橋来唯さん（6年）が唯一所属しています。

同大会には全県から40チームが参加、決勝では1セット奪われたものの、準決勝まではすべてストリート勝ちと、安定した試合運びで全国大会への切符を手に入れました。

中仙バレーボールスポーツ少年団は、秋田県代表として3月27日から岐阜県岐阜市の岐阜メモリアルセンターを主会場に開催される全国大会に出場します。



中仙バレーボールスポーツ少年団の皆さん。キャプテンの佐々木結菜さん（前列中央、中仙小6年）は「全国大会でも自分たちのバレーができるように頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。



セッターとしてチームを支える角館小学校の高橋来唯さん。「綺麗なトスを上げることができたときとても楽しい。全国大会ではまず1勝したい」と話しました。

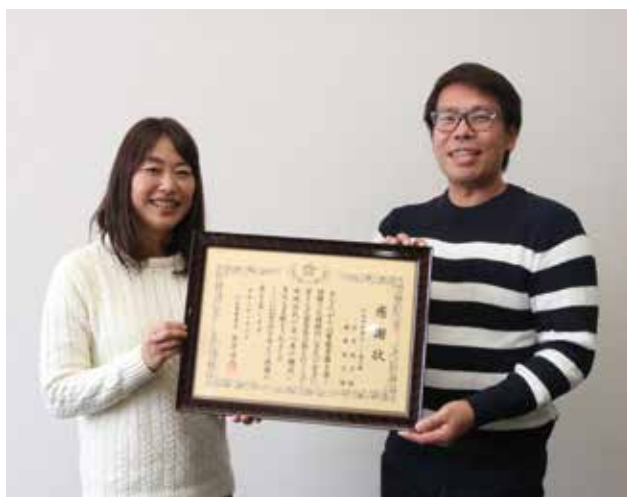
市民に防犯などを呼びかけ

地域おこし協力隊に感謝状

仙北市地域おこし協力隊の折笠靖子さんと播磨靖之さんが市民の安全に関する広報啓発活動を行ったことにより、仙北警察署長から感謝状をいただきました。

昨年の桜まつり期間中には、こまち娘となまはげに扮して仙北警察署や仙北市防犯指導隊などの関係団体と一緒に防犯を呼びかけるチラシやティッシュを配布し、市民や観光客が安心できるよう広報活動を行っています。

二人は「このような活動から地域の方々につながり、協力隊や自分たちのことを皆さんに知ってもらえた。今後も続けていきたい」と話しました。



感謝状を受け取った仙北市地域おこし協力隊の折笠さん（左）と播磨さん（右）。